

教材の開発と活用による道徳教育の中身づくりの推進

— 地域へ出向き、全校が地域教材づくりに取り組む —

アピールポイント

町内全校が、地域教材づくりを通して、

- ・ 地域を好きになる
- ・ 先人、自然、伝統文化を愛する児童生徒の育成をめざす

1 開発のポイント

① 連動

本町道徳教育推進協議会と連動し、ステップを踏みながら作成していく。

② 共感

まず学校が、地域に出向き、話を聞き、地域の願いや良さに共感する。

③ 共感を教材へ

故郷を愛する児童・生徒の育成のため、共感した思いを込めて、教材づくり・指導改善に取り組む。

わたらの生き様を子どもたちに伝えてくれるなら、なんぼでも話し、協力するよ。

いつも挨拶はしていたけど、ああいう思いを持たれていたらとは知らなかった。行ってよかった。

2 各校が選定した素材の紹介

○先人の伝記（4）

- ・ 草木大溝堤 ・ 桑木の水路 ・ 亀石・平忠地区大水害 ・ 内藤語一先生

○自然（4）

- ・ モリフクロウ ・ 星居山 ・ 町花ヒゴタイ ・ 雄橋

○伝統文化（1）

- ・ 盆踊り

○地域の願い（3）

- ・ 大根祭り ・ 防犯パトロール(2)

3 素材の選定、情報の収集のポイント

○先人の伝記、自然等の素材に恵まれた地域特性を生かす

- ・ 豊富な素材・資料から、地域の願いや誇りを大切に選定をする。

○中山間地域の思いを大切にする

- ・ 自然への畏敬・自然との共存等への強い思いを大切に、過疎地ならではの子どもを大事に思う気持ちに寄り添った情報収集をする。

4 教材開発計画

5月「教材作成について」

6月「資料概要「起承転結」を持ち寄る」

8月「教材文を持ち寄る①」

11月「教材文を持ち寄る②」

2月「教材文の検討」

月	内容
5月	教材作成について
6月	資料概要「起承転結」を持ち寄る
8月	教材文を持ち寄る①
11月	教材文を持ち寄る②
2月	教材文の検討